



Michigan Newsletter

October 2024

No. 1
ミシガン経済交流駐在員

経済交流

1. ミシガン州経済開発公社クエンティン・メッサーJr 総裁と面会
2. 日本祭りで近江の茶と県の観光PR！
3. 姉妹県州カクテルはいかが？

ページ 1～2

教育交流

1. ミシガン州教育局マイケル・ライス教育長と面会
2. 留学＆夏のプログラムフェアに県PR ブース出展

ページ 2～3

草の根交流等

1. ミシガン・滋賀姉妹県州委員会の定例会開催
2. ミシガン・滋賀未来のアートプロジェクト

ページ 3～4

経済交流

1. ミシガン州経済開発公社クエンティン・メッサーJr 総裁と面会

10月1日、駐在員交代の際に面会し、ご挨拶させていただくとともに、経済交流や教育交流の今後の展開について意見交換を行いました。

クエンティン総裁からは、滋賀県との関係は大変重要であると考えており、フランクに親密に交流を深めていきたい、滋賀県からミシガンを訪来予定の企業について面会先を探し支援できるのは大変うれしい、とのコメントを頂きました。



プレゼントは琵琶湖ブルーの信楽焼コーヒーカップ。

【ミシガン州経済開発公社】

州のイメージを世界中に広め、投資や雇用の創出につなげ、長期的な経済成長につなげることをミッションとしている、滋賀県でいえば商工観光労働部のような組織。駐在員に勤務スペースの提供やビザの支援をしていただくなど、駐在員制度への理解と多大なバックアップがあって駐在員の活動が成り立っています。

ミシガン州経済開発公社 公式HP(日本語)<https://michiganjp.org/>

2. 日本祭りで近江の茶と県の観光 PR !

10 月 13 日に、日系企業の集積を背景にミシガン州最大の日本人コミュニティのあるノバイ市にて、デトロイト日本商工会主催の日本文化発信イベント「日本祭り」が開催されました。射的や輪投げ、浴衣の着付けなどのコーナー、太鼓や演武などのステージ発表もあり、日本人だけでなく地元の方や家族連れなど、約 4000 人が来場しました。

滋賀県ではPRブースを設置し、滋賀県魅力発信協力員の方と一緒に近江の茶の試飲販売、滋賀の観光 PR を行いました。朝宮茶、和紅茶、抹茶や番茶などを取り揃えていましたが、売り切れが出るほどでした。試飲では和紅茶を提供し、苦みや渋みが少なく、柔らかな味わいは、飲みやすいと好評でした。



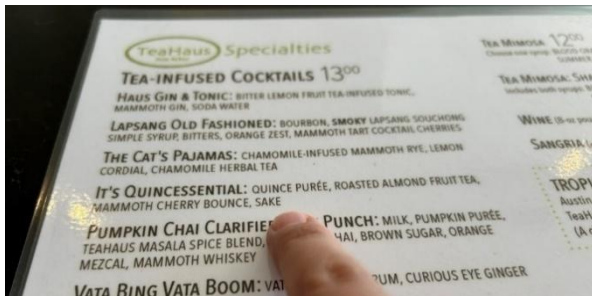
3. 姉妹県州カクテルはいかが？



前任の駐在員の熱い思いが実を結び、2024 年 3 月より、ミシガン州内にて滋賀の地酒 3 銘柄の本格的な流通がスタートしています。日本食を中心に扱うスーパーマーケットや複数レストランにて、取り扱いが始まっています。

彦根市の姉妹都市でもあるアナーバー市にある茶専門店、ティーハウスにて、滋賀の地酒とミシガン州産チェリーを使用したリキュール(酸味のあるチェリー、砂糖、スパイス、ウォッカを使用)を組み合わせたカクテルがメニューに追加されたとのうれしい知らせがありました。ティーハウスには、これまでから近江の茶のプロモーションでも支援を頂いています。

チェリーの酸味で酒の甘みが引き立ち、フルーティーで飲みやすく、姉妹県州のハーモニーが楽しめる仕上がりとなっています。これからたくさんの方に味わってもらえるのが楽しみです。



教育交流

1. ミシガン州教育局マイケル・ライス教育長と面会

10 月 10 日、駐在員交代の際し面会し、ご挨拶させていただくとともに、コロナ以降ストップしている高校生交流について意見交換を行いました。

ライス教育長からは、高校生交流について、一つの学区で再開すれば、先生同士、校長同士、教育長同士でいい話はどんどん伝わる、広報やアドバイスなど、できることは何でも協力する、との力強いコメントを頂きました。



2. ミシガン大学 留学&夏のプログラムフェアに県 PR ブース出展

10 月 25 日、ミシガン大学にて、日本語履修学生を対象とした留学先を紹介するイベントが開催され、1~2回生の35名の参加がありました。留学先として、滋賀県にあるミシガン州立大学連合日本センターをはじめ、京都アメリカ大学コンソーシアム、北海道国際交流センター、東京都内の私立大学などが紹介されました。

他の留学先と比較してみると、ミシガン州立大学連合日本センターは、幅広い学年の学生が応募でき、複数のコースから自分にあったものを選べること、週末ホームスティなどコミュニティと関わる機会があることが特徴的です。

当日は6つの留学先の団体がブースを出し、学生が自由に回り質問ができるようになっており、ミシガン州立大学連合日本センターのブースも説明を求める学生で大盛況でした。学生は学習環境にも関心があり、琵琶湖の見える教室で授業が受けられること、自然や文化が豊かで食べ物もおいしいこと、アクセスの良い立地などについて紹介。近江の茶や滋賀の観光パンフレットも用意した分がなくなるほどの人気でした。



【ミシガン州立大学連合日本センター】

1989 年に滋賀県とミシガン州の姉妹提携 20 周年を記念して設立された、彦根市にある県有施設。

地域の方にとっては英語を学ぶ場、ミシガン州内の 15 の州立大学に通う学生にとっては、留学して日本語を学ぶ場でもあります。ミシガン州イーストラッシングにもオフィスがあり、スタッフはこのような場を利用し学生のリクルート活動やプログラムの周知を行っています。

ミシガン州立大学連合日本センター公式 HP(日本語) <https://www.jcmu.net/>

ミシガン州立大学連合日本センターイーストラッシングオフィス公式 HP(英語) <https://jcmu.isp.msu.edu/>

草の根交流等

1 ミシガン滋賀姉妹県州委員会の定例会開催

10 月5日(土)、各姉妹都市の代表が集まり年3回開催されるミシガン滋賀姉妹県州委員会の定例会が開催されました。コロナ以降、オンライン開催となっていましたが、駐在員交代に際し、対面で行われました。

主な議題は、役員の改選、9 月の滋賀からミシガン州への友好親善使節団受入の振り返り、会員を増やすための戦略の共有などで、前任駐在員からこれまでの活動のレポート、新任駐在員は挨拶を行いました。

会では、活動に関心のある人を取り込んでいけるよう、使節団に参加した団員など、姉妹都市に在住していない人でも会員になれるよう内規の見直しを行なったところです。外部の関係者に対しては、定期的にニュースレターを発行、一般の州民に対してはソーシャルメディア等を活用し発信するなど、今後の取り組みについても話し合われました。

【ミシガン滋賀姉妹県州委員会】

ミシガン州における滋賀県との交流を担う組織。主に州内の姉妹都市及び友好都市から選出された代表者と各都市からの参加希望者で構成。定例会を年3回、役員会を毎月開催し、両県州の草の根交流の一翼を担っています。

ミシガン滋賀友好親善使節団の受入や派遣について、滋賀県側では県や市町で運営しているのに対し、ミシガン州側はこの県州委員会が受け皿となり、メンバーがボランティアで活動しているのが特徴です。

ミシガン滋賀姉妹県州委員会 公式 HP(英語)<https://michiganshiga.org/>

2 ミシガン滋賀 未来のアートプロジェクト！

ミシガン大学のジム・コグスウェル教授が、2027年に戦争と平和をテーマに日本各地で展覧会ができないか検討されており、姉妹県州関係のある滋賀県での開催を希望されています。

教授は第二次世界大戦後来日した宣教師の両親の子として大阪で生まれ、日本各地で生活。大学卒業後、四国で2年間英語を教え、京都に滞在し地元のアートセンターで美術の授業を受け、墨絵や日本の着物の色合いやデザインからも大きな影響を受けて作品を制作されています。

パブリックアートが姉妹県州・姉妹都市をつなぐ？

教授の作品は、絵画だけでなく、町の公共空間やカフェ、病院などとコラボレーションしたパブリックアートも魅力の一つです。このパブリックアートは、参加型で作品を作り上げることができることから、ミシガン州から留学中の学生や、ミシガン友好親善使節団参加者などミシガンと滋賀に関わる様々なメンバーに参加してもらえば、交流をさらに深めるきっかけになるかもしれません。



ミシガン大学自然史博物館のガラス面をしたパブリックアート。



一日の中でも日のさす角度によって表情が変わるのも魅力。

2つの姉妹都市、2つの姉妹県州、2つの国をつなぐような取り組みができればとてもうれしい。



ローラーを使い、ビニールを貼る過程。